

科目	技術英語 (Technical English)		
担当教員	小林 滋		
対象学年等	応用化学専攻・1年・後期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B3(40%) B4(40%) D1(20%)	JABEE基準1(1) (b),(d)2-b,(f)
授業の概要と方針	<p>多種の工学・技術関連トピックを取り上げ、ビデオや音声教材もできるだけ使い、使われている語彙や文構造や、広がり理解することにより技術英語に慣れる事を目指す。あわせて毎時間10から15の基本的な技術英文例文および多数の技術英語語彙を覚えることで、科学技術に関する英語表現力、語彙力を高める。原則毎時間復習テストを実施する。</p>		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B3】 技術的な話題にて用られる英語の語彙やその基本文例を学習することにより、基本英語力を高める。		技術的な話題にて用られる英語の語彙やその基本文例が理解できているか復習テストにて評価する。
2	【B4】 工学・技術上の英語文献によく用いられる専門用語や単位のあらわし方、表現方法を学習し、読解力や表現力を高める。		工学・技術上の英語文献によく用いられる専門用語や単位のあらわし方、表現方法を復習テストにて評価する。
3	【D1】 新しい先端技術や環境関連技術、医療福祉技術に関するテーマも扱うことにより、広い視野を持つとともに技術者の役割についても考え、技術者意識を高める。		トピック毎に要約も記してもらい、内容が把握されているか、復習テストにて確認、評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	原則毎時間小テスト実施：95%，レポート課題：5%		
テキスト	プリント 「工業英語ハンドブック」：（日本工業英語協会）		
参考書	「理系のための英語便利帳」：倉島保美他著（講談社）		
関連科目			
履修上の注意事項	事前に配布する英語プリントを予習すると共に、特に前回の内容を復習して受講すること。本教科は本科4，5年生にて開講されている英語演習や専攻科にての時事英語に続く、英語を実際に工業、技術社会にてコミュニケーションに使用するための学習科目である。		

